



南行通信

自分もみんなも大切にする子供を育てる

～やさしさいっぱい 夢いっぱい 元気いっぱい～

令和7年6月5日
校長 中村 由美子



5月24日 令和7年度運動会を行うことができました。前日の雨で、天気が心配でしたが厳しい暑さもなく過ごしやすい気温の中、子供たちは力いっぱい競技や演技をすることができました。閉会が予定時刻より遅れましたが、保護者の皆様はじめ卒業生や地域の皆様が、片づけに力を貸していただいたおかげで、短時間で終了することができました。ご協力いただき、ありがとうございました。

運動会の後の子供たちの感想には、「練習を一生懸命頑張ったから、かっこよく踊れた」「お母さんに、上手だったよとほめられた」など、自分の努力に気づくとともに、おうちの方からほめられることで、さらに充実感や満足感を味わっていました。また、「1年生のダンスがかわいい」「6年生の組体操がすごかった」「6年生になったら、やってみたい」と、通常の学習ではわからない異学年の姿を見る事ができるのも、運動会の良さの一つです。



さて、日本ではじめて開催された運動会は、1874年(明治7年)海軍兵学校で行われた「競闘遊戯会」でした。そこでは、徒競走を「すすめの巣立ち」と呼んでいました。子供たちが一生懸命走る姿を「すすめの巣立ち」と表現したところに、運動会が作り出す子供の成長への思いは、今も昔も変わらないと感じます。

今年度の運動会スローガンである「#152年目! 最後まで超全力!」が達成できた運動会でした。

6月3日にオンラインで朝会を行いました。

朝会では、「学校ではなぜ勉強をするのか」「放課後の過ごし方」について、話しました。

教育基本法では、義務教育の目的を「社会において自律的に生きる基礎を培い…」としています。そこで、朝会では、大人になると様々なことを自分で考えなくてはならない、学校の勉強は様々な教科を通して考える練習をしている、だから勉強が必要なんだ、という話をしました。考えてもわからなかったら、助けてもらえばいい。ほかの人とかかわりながら解決できる力をつけるのもとても大事なことだということを伝えました。

さらに、放課後の過ごし方を確認しました。

おごったり、
おごられたりしない。

寄り道をしないで
家に帰る。

知らない人に
ついていかない。

遊びに行くときは、
どこにいくかを
家の人に伝える。

お金やインターネットのトラブルが増えています。ご家庭でも、放課後の過ごし方について、お子様と確認していただきますようお願いいたします。

盲導犬ユーザーさんが来てくださいました。

5月30日(金)盲導犬ユーザーである平松喜久子さんと、盲導犬のハイジが来校して、4年生にお話をしてくださいました。病気などにより視力を失うことがあるという現実や、視覚障がいの方がどのように生活されているのか、また、どんな声をかけたらよいか、手助けをすればよいか等、多くのことを学ぶことができました。「③…ふだんの、④…くらしの①…しあわせ」とはどんなことか、体験活動や様々な立場の人との交流を通じて、各学年で今後も取り組んでいきます。



お知らせ

5月30日付で、葛南教育事務所より関陽介教諭が休暇等補助教員として、着任いたしました。2年3組の学習を中心に指導いたします。